

おジャ魔女
おジャ漫画
依存症候群

shirando-2002
presents book





この漫画を読む時は
部屋を明るくして鍵をかけ
物音をたてないように
読んで下さいね。

(おんぶ)

増巻堂
おジャ魔女おジャ漫画
依存症候群



□こんにちは。どーもどーも。
 または初めまして。shiranです。
 今回、ふにケット合わせの新刊です。
 5冊目のどれみ本。いつの間にか
 制作サークルであるはずの燐堂が
 おジャ魔女サークルになりかけると
 非常にやばいなあと思う今日このごろ
 です。本来の創作をおろそかにはして
 いないつもりなのに、いかんともしが
 たい状況なり。
 割り切って気にしないように心掛けて
 ますが…。
 ネタは「あいももおんぶ」です。
 はづきじゃないよ？予想外ですか？
 まあ、とりあえず、いつものごとく
 280馬力でいきましょうか。

今回ははづきとハナちゃんと
 どれみは出番無しです。
 あしからず～。
 それにしても、はづきの扱いが
 とても気になります。第4期は
 どうなっていくのやら…。



湯、蒸るよ

おんせ...
あははあが
悪かたよ...

おんせ...
あははあが
悪かたよ...

おんせ...
あははあが
悪かたよ...

おんせ...
あははあが
悪かたよ...

おんせ...
あははあが
悪かたよ...

おんせ...
あははあが
悪かたよ...

おんせ...
あははあが
悪かたよ...

おんせ...
あははあが
悪かたよ...

おんせ...
あははあが
悪かたよ...

おんせ...
あははあが
悪かたよ...

おんせ...
あははあが
悪かたよ...

おんせ...
あははあが
悪かたよ...

おんせ...
あははあが
悪かたよ...

おんせ...
あははあが
悪かたよ...

おんせ...
あははあが
悪かたよ...

おんせ...
あははあが
悪かたよ...



花井

ぬきッ

んん...

2.

あんなに...
あんなに...
あんなに...

あんなに...
あんなに...
あんなに...

あんなに...

あんなに...

あんなに...
あんなに...
あんなに...

あんなに...
あんなに...
あんなに...

あんなに...
あんなに...
あんなに...

あんなに...
あんなに...
あんなに...

あんなに...
あんなに...
あんなに...

あんなに...

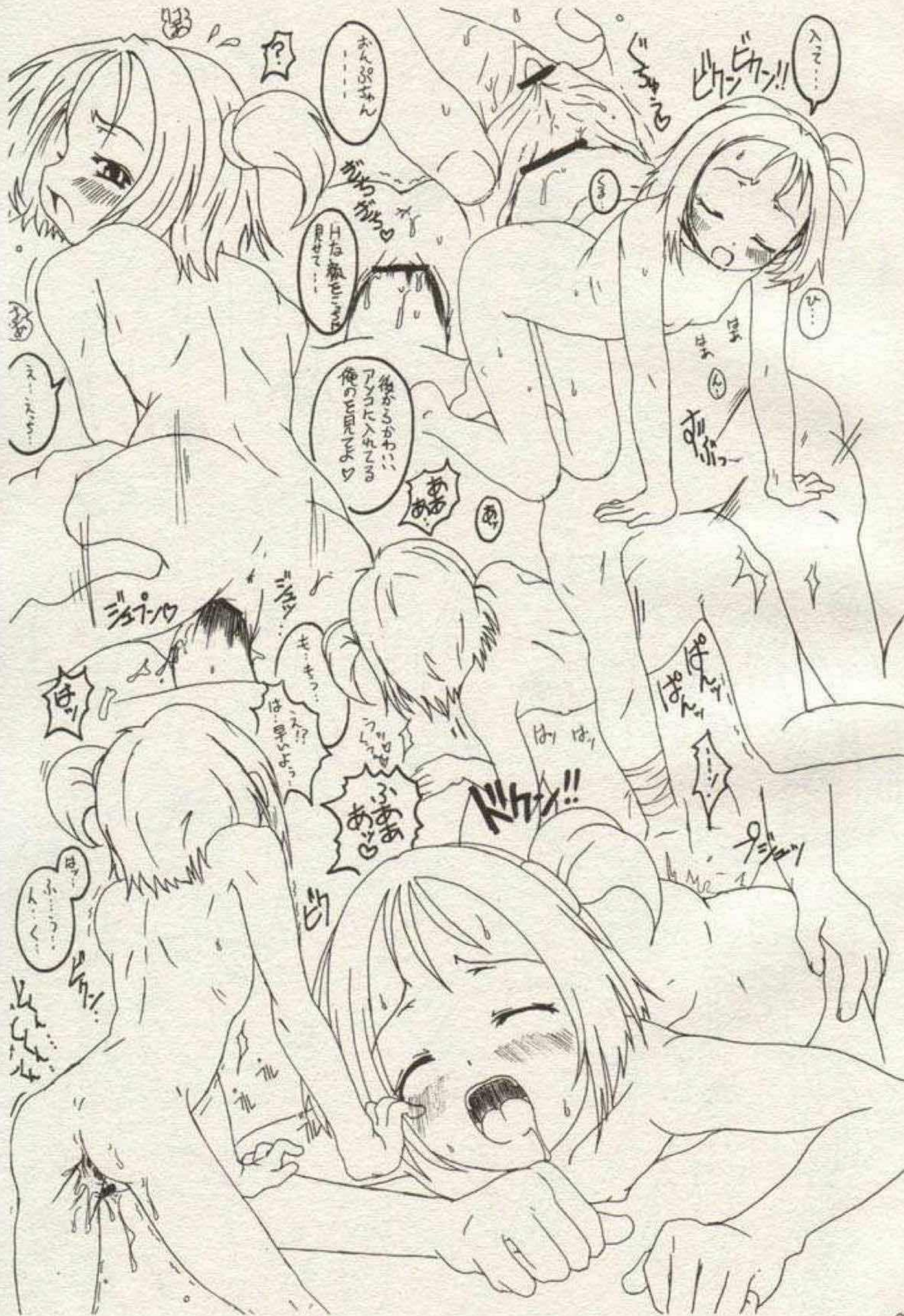
あんなに...
あんなに...
あんなに...

あんなに...
あんなに...
あんなに...

あんなに...

あんなに...

あんなに...



おんぶさん

入る...

おんぶさん

後からかわい
アソビに入れてる
俺の胸に

ああ

おんぶさん

おんぶさん

おんぶさん

おんぶさん

おんぶさん

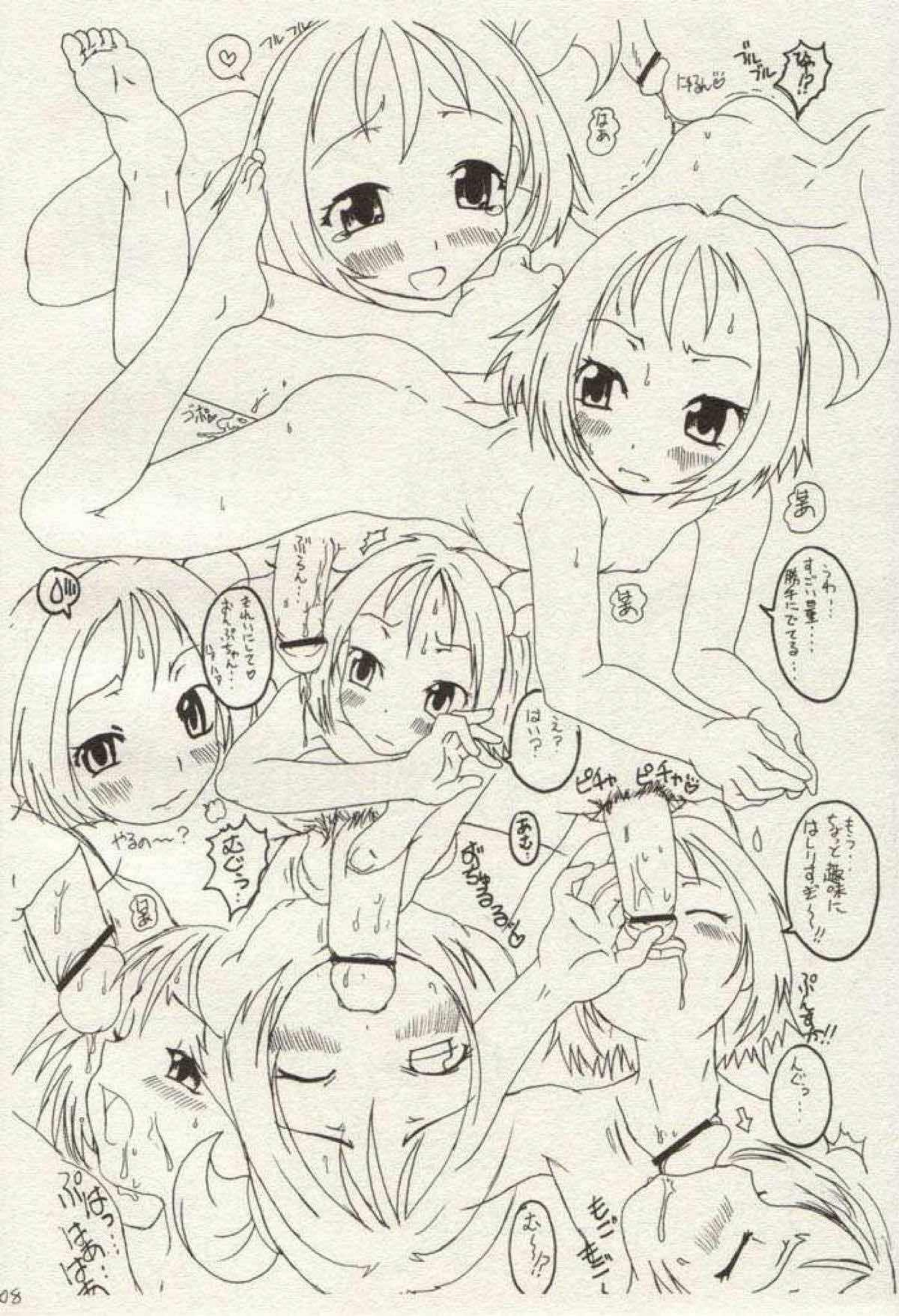
おんぶさん

おんぶさん

おんぶさん

おんぶさん

おんぶさん



♡

7L 7L

はあ

はあ

はあ

はあ?

はあ

はあ

はあ...
まじで...
勝手にできる...

はあ

はあ...
はあ...
はあ...

はあ

はあ

はあ

はあ?

はあ...

はあ

はあ

はあ...
はあ...
はあ...

はあ...
はあ...

はあ...
はあ...

はあ?

はあ



はあ はあ

おんがの
口を
あ

おんがの
口を
あ

!?

おんがの
口を
あ

おんがの
口を
あ

おんがの
口を
あ

おんがの
口を
あ

おんがの
口を
あ

おんがの
口を
あ



おん...おん...
おん...おん...
おん...おん...

おん...おん...
おん...おん...
おん...おん...

おん...おん...
おん...おん...

おん...おん...
おん...おん...

おん...おん...
おん...おん...

おん...おん...
おん...おん...



……

……

あかん……お風呂かごころ
たぬ……お風呂かごころ

お風呂かごころ
お風呂かごころ……

お風呂かごころ
お風呂かごころ……



そんなかっこうでくるなんてはたなあ...
いくら同じパジャマ

あはは
お風呂入ったから
おんこをいれたい...
しーおんこ...

...おんこをいれたい
おんこをいれたい
おんこをいれたい
おんこをいれたい

なんかお風呂の
おんこをいれたい
かわいいなあ...

おんこをいれたい
おんこをいれたい

おんこをいれたい...
おんこをいれたい...

おんこをいれたい...
おんこをいれたい...

あー!!
おんこをいれたい!!

このおんこ...
おんこをいれたい!!
おんこをいれたい!!

おんこをいれたい...
おんこをいれたい...

おんこをいれたい!!
おんこをいれたい!!

おんこをいれたい!!
おんこをいれたい!!

おんこをいれたい!!
おんこをいれたい!!

おんこをいれたい!!
おんこをいれたい!!



あかして...
合戦の準備して...
回中や...

「あんなさ...」
「あんなさ...」

な...と...
い...なる...
や...

わ!!

「わ...」

か...ん...
い...す...

いた...か...
ま...い...

あ...ま...
ま...か...
た...

い...
い...

い...
い...

い...
い...

命に...
え...
ホ...

あ...
い...
た...

い...
ま...
や...

キドキドキドキドキドキドキ



お風呂はいいな...

お風呂はいいな...

ギョッ...

ギョッ

あ...

あ...

お風呂はいいな...

あ...

あ...

あ...

あ...

かんにんやあ...

かんにん...

あ...



だか...
あーだー London

あかんわんてー
あかんわんてー
あかんわんてー

びびり

びびり

ホントに
あかんわんてー
あかんわんてー
あかんわんてー
あかんわんてー

びびり

あかんわんてー
あかんわんてー
あかんわんてー

あかんわんてー
あかんわんてー
あかんわんてー

あかんわんてー
あかんわんてー
あかんわんてー

あかんわんてー
あかんわんてー
あかんわんてー

あかんわんてー



あーたーたーたー!!

あー

あーたーたーたー

今日は
二冊の英語の
お勉強をしよう
かな!!

5

ニュータイプの英語
俺達のニュー
ホラズン!!
#1
#2
#3
#4
#5
#6
#7
#8
#9
#10

あーたーたーたー
あーたーたーたー
あーたーたーたー

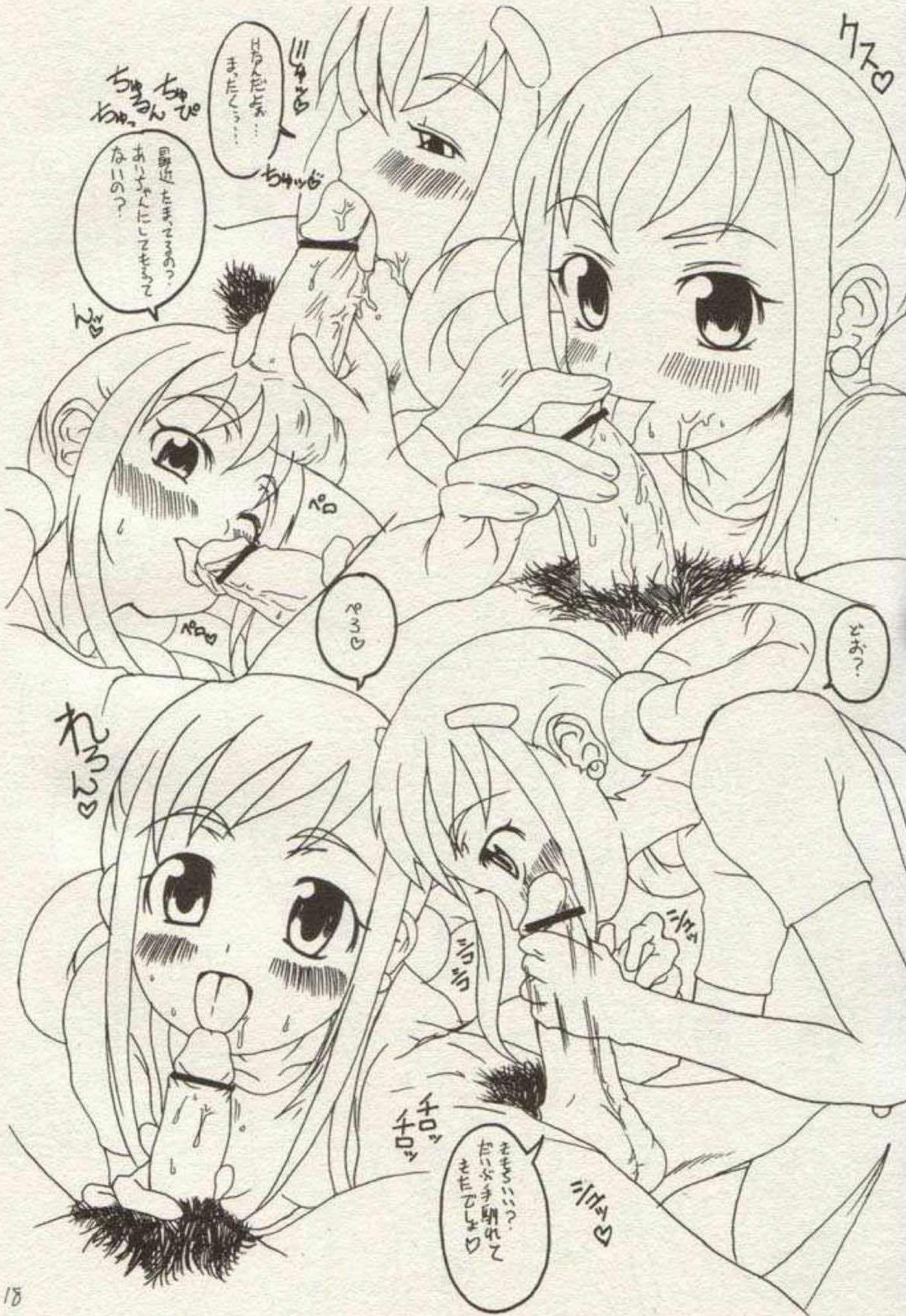
ガッ
てんぱん

二冊の英語
お勉強をしよう
かな!!

あーたーたーたー
あーたーたーたー
あーたーたーたー

あーたーたーたー
あーたーたーたー
あーたーたーたー

あーたーたーたー
あーたーたーたー
あーたーたーたー



♡♡♡

ちゅんちゅん
ちゅんちゅん

ちゅんちゅん
ちゅんちゅん
ちゅんちゅん

END

ちゅんちゅん
ちゅんちゅん
ちゅんちゅん

ちゅんちゅん

END

END

3+6~

END

3+5~

3+5~

ちゅんちゅん
ちゅんちゅん
ちゅんちゅん

♡♡♡



love...
love...
love...

love

Miyako

Miyako

Miyako

Miyako

Miyako

Miyako

Miyako

love

Miyako

love

love

love

Miyako

Miyako

Miyako

Miyako

Miyako

Miyako

Miyako

Miyako

love



33333

どん...
どん...

あ...

あふ...

あふ...

あ...

あふ...

おめえ...

あ...
あ...
あ...

あふ...

あふ...

あ...

あふ... 2
あふ...
あふ...

あふ...
あふ...

2...



あま〜ん
あま〜ん
あま〜ん

あま〜ん

あま〜ん
あま〜ん
あま〜ん

あま〜ん

あま〜ん

あま〜ん

あま〜ん
あま〜ん
あま〜ん

あま〜ん

あま〜ん

あま〜ん

あま〜ん

あま〜ん

あま〜ん

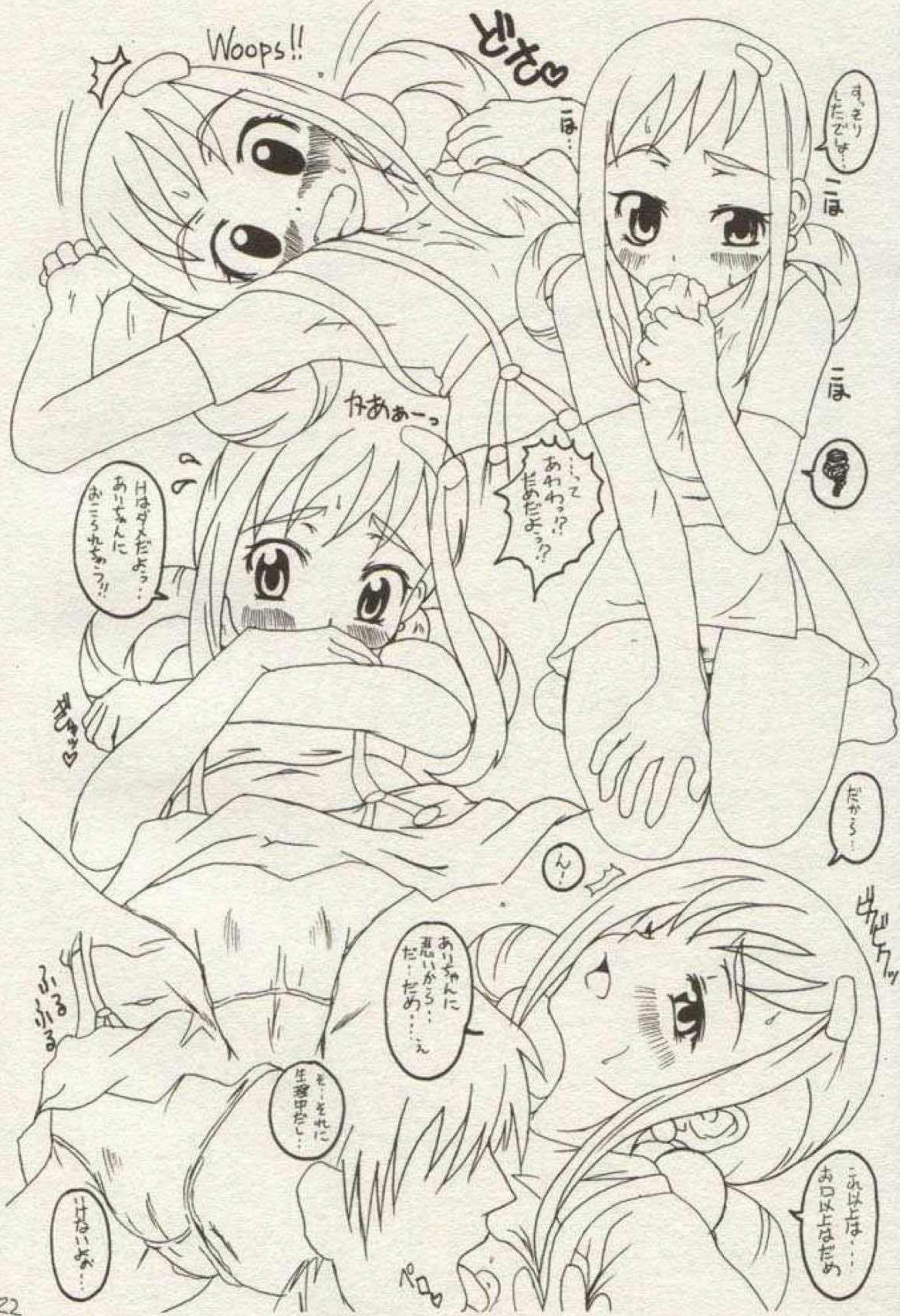
あま〜ん

あま〜ん
あま〜ん
あま〜ん

あま〜ん
あま〜ん
あま〜ん

あま〜ん
あま〜ん
あま〜ん

あま〜ん
あま〜ん
あま〜ん



Whoops!!

どたど

まさり
したとす...

いっ

いっ

いっ

いっ

いっ

あーちゃんに
悪いから...
だ...だめ...え

そーをれに
生中だ...

いっ
いっ
いっ

いっ
いっ
いっ

いっ
いっ
いっ

いっ

いっ

いっ

いっ



けい

あ

ん

うわっ
うわっ

うわっ
うわっ

そんなにおぼろを
吸って...
くっ...
あ

んん

うわ

うわ

うわっ
うわっ
うわっ

うわ

えっ...
は...
あ

うわ

うわっ
うわっ
うわっ

あ...
あ...
あ...

うわ

うわっ
うわっ
うわっ

うわ



ニッパニニッパニッ...
ニッパニニッパニッ...
のこ...
ちんで...ちんで...

あ...

や...

私...
おん...
おん...
おん...

あ...

は...
は...
は...

ビクッ!!

あ...
あ...
あ...

あ...
あ...
あ...

あ...
あ...
あ...
あ...
あ...

あ...

あ...

あ...
あ...
あ...
あ...
あ...

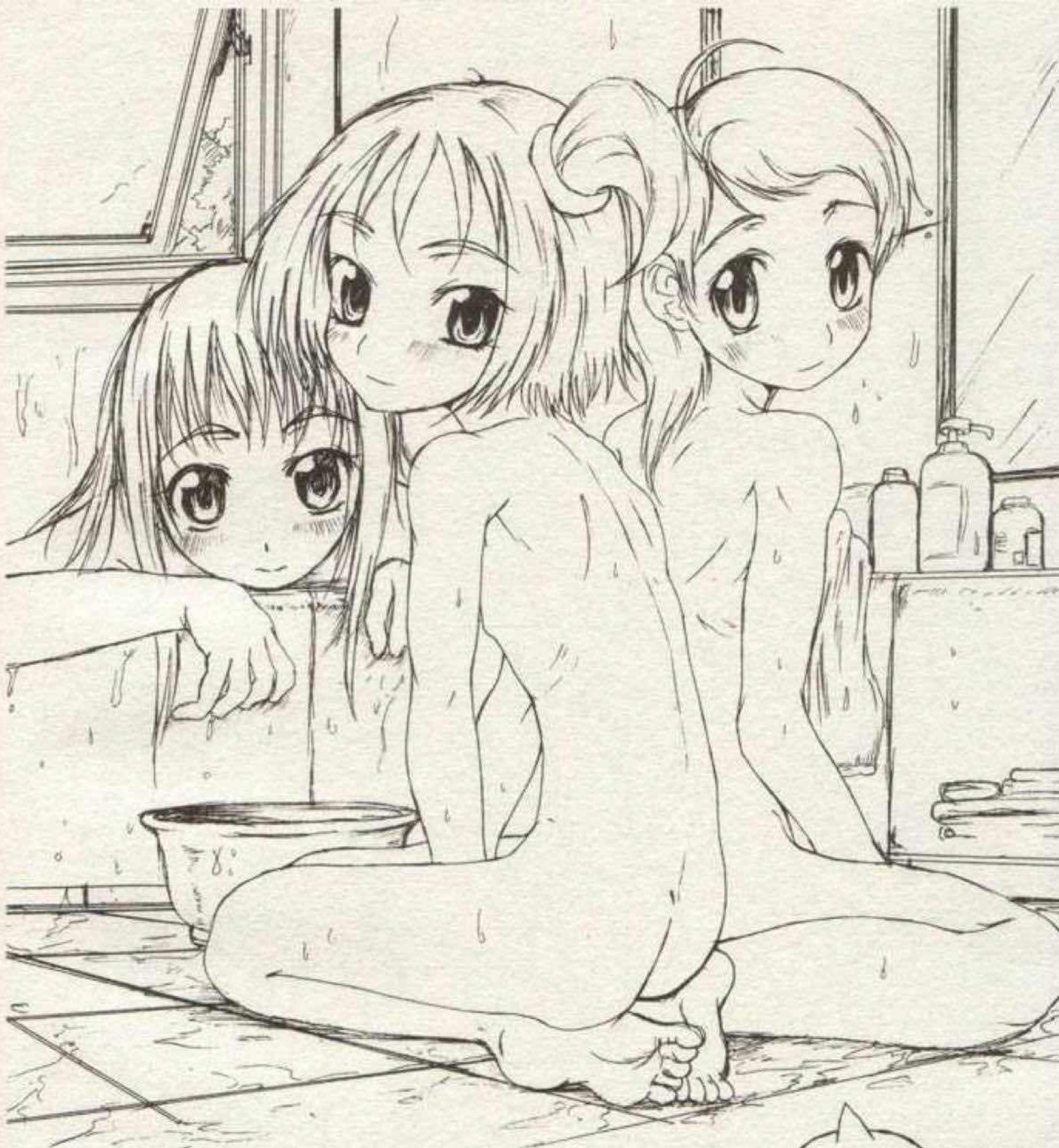
あ...

あ...

あ...

あ...

あ...



はい。そういうわけで、おんぶとあいこともこのお話であります。shiranは妄想超特急な感じでこんな描いておりました。たまにやあこういうラヴ〜なものも良いものですね。にしても阿呆な妄想です。

ネタの元は、以前にRAITA先輩と遊びに出かける車中で永遠と語っていた妄想が発端でして、俺の頭の中で長篇ラブストーリーになっています。(笑)

主人公は藤原監督(はづきのパパさん)の助手。いわゆるなんでもやらされるアシスタントです。将来はハリウッド監督をめざす好青年。今は勉強と経費を積むために修行中です。そして、コヤツはあいこの家の隣に住んでいます。しかし、主人公は多忙なため、めったにあいこと出会うことはありません。あいこの父親とはそこそこ気が合うようで、仲は良い方です。偶然、あいこが学校へ行く前にゴミを捨てに行くある日、早朝に仕事から帰ってきた主人公と出くわして、お約束のごつつんこ。そこから話は進んでいきます。あいこは最初「なんやあいつは〜！」って嫌がって仲は険悪といってよい状態で始まるのです。そんなある日、場所は変わって藤原邸。主人公はとある撮影のクランクアップの祝賀会にそこに行っていました。藤原監督は主人公の事を気にかけているので下っ端の彼を呼んでいたのです。(そこで初めてはづきに出会います。)打ち上げも終盤の頃、監督は皆に次回作の予定を言います。なんとそれは大作となるらしく、よろしく頼むとのこと。出演者にはおんぶもいます。そこから物語は加速して行くのです。

おんぶとは仕事上の付き合いから始まります。今回の新作の撮影開始決定時に監督に今まで雑用しかしてなかった主人公を撮影助手に大抜擢します。これは主人公が手持ちの8ミリフィルムで撮った映像を監督が見た時にピンときたからです。緊張する主人公。案の定、撮影時にぼかをしまくりです。出演者のおんぶからはダメな人と罵られ、更に何故かおんぶの接待までさせられる始末。会う度に虐められ、わがままを聞き、怒られたりする毎日が続きます。一方、魔法堂では相変わらず手伝いをしているおジャ魔女達。休憩時間におしゃべりしたりお菓子食べたりしております。お話の話題は学校での出来事らしく、男子生徒が決められた仕事をしてくれないとか、役に立たないとかそんなことが主体のようです。ある意味、おジャ魔女達はいろんな仕事をしてきたわけで、話しは非常に社会的なことを言っていたりします。おんぶが話の延長で撮影の仕事の話を持ち上げました。大人になっても分別つかない人はたくさんいるわ。だって今の仕事でも役に立たない人いるし…。どうやら主人公が魔王に上がっている様子です。あいこも家の隣の奴もダメそうなのやつやなあ〜って話をします。どうやら主人公の好感度最悪のようです。(笑)確か名前は…二人は同時に主人公の名前を言います。そしてびっくり。二人は同一人物だということをごここで初めて知るのです。そこからはもはや主人公の晒しあげ状態。悪口なり、勝手に悪人にされたり、ロリコン野郎とか言いたい放題。笑い話(二人の中で)は盛り上がっていきます。そこで、もう一人、私もその人知ってるんですが…という声。そうです、はづきです。藤原邸で主人公と出会っているのも面識があります。あんぐりする二人。何時の間にかおジャ魔女3人と面識を持った主人公でした。

あまりにも間が悪く、そして素質はあるものの、元来のお人好し、頼まれたら断れない性格。運の悪さ。要領の悪さも原因し、仕事をこなすことができない主人公。撮影陣からは彼だからしょうがない(周りからは好かれてるらしく、それでキャラが立ってる)と言われるが、気に喰わないのはおんぶ。悪運なのか決まっておんぶが現場にいる時に限って多くぼかをやる主人公。直接は関係ないリテイクなり、その他のミスでも、主人公が悪いと決めつけてしまう始末。その他の仕事やハードなスケジュールもあってストレスがたまり、そのはけ口に主人公を罵倒し、見下したりしてしまいます。主人公は過度なおんぶの言動にもすいませんといつも言っただけ…。それもおんぶには腹に触るわけで、どんどんムードは悪化。この人とじゃ仕事できません…とまで監督に言っただけ…。主人公はいたって平常です。夢を持った駆け出しの頃、周りからこき使われ、怒られ、挫折しそうなくらい窮地までさまった時にも諦めず、夢に向かって今日まで邁進し、経費を積んできた当人です。へこたれません。おんぶにとっては夢見続けるだけの幼稚な大人としか捉えていませんが、ある日事件は起こります。ある撮影の休憩時、いつものように雑用をこなす主人公。昼食の弁当を手配し、スタッフや俳優に配ったりお茶を配っています。もちろんおんぶにも配るわけですが、その時に彼女はこの食事は太っちょから別なのにしてとか、お茶買ってきてとか無理難題をふっかけます。慌てる主人公は急いで手配するのですが、その時に懐中時計をおんぶの目の前に落とすのであります。おんぶはその汚れた傷だらけの古めかしいそれを手にとって、それを外に汚らわしいと捨ててしまうのです。その撮影時はロケの為、山中にいたのですが、投げ捨てた場所が悪く崖の下。無惨にも時計は壊れたのでした。もちろんおんぶは知った事ではありません。ロケも終わりに近付いた時、主人公はいつもあるものが無くなっていくことに気が付きます。必死に探す主人公。尋常ではない表情で懸命に探すのです。周りのスタッフもさすがに気にしてしまい、彼の為にロケ終了後、一緒に探すにまで至りました。その中には監督もいます。そして他の俳優さんも…。おんぶは自分の捨てた物のせいで事が大きくなっていくのに焦りだします。

それよりも、なぜ主人公がここまで人望熱いのか疑問に思い始めます。なんでこんな奴のために必死になるの?皆、おかしいじゃない。おんぶはこの疑問を無理矢理消して、冷酷に主人公の前に立ちます。時計でしょ?ゴミだと思って捨てちゃったわ。崖の下だし、もう川に落ちて流されていくら探しても無駄じゃないの?不運に笑みを浮かべるおんぶ。愕然とする主人公。…そして、肩を落としたままいつもと違う雰囲気的主人公は無言でその場を離れ一緒に探してもらったスタッフや俳優に謝ります。険悪なムードが一面を被ります。おんぶは、悪かったわね。そんなに時計が気になるなら私が買ってあげるわよ!汚らしいのより、もっと高価な新品な物をね!いらぬですよ。あれの代用なんてどこにもありません…。この時、初めておんぶに今まで「はい」としか言わなかった主人公が「いいえ」を言った一言でした。おんぶは逆切れ。激昂してしまい、その場を後にします。一時、おんぶの前に監督が現れ、先程の話をします。彼女はこれでも一応有名人気チャイドル。撮影時では善悪問わず、彼女が優先されます。トラブルは避けなければ製作は進みません…。監督は、気に喰わないのなら彼は外すから。トラブルは避けてくれと頼みます。一時的ではあれ、おけるとまで言い出した彼女ですが、それだったらと絶投をするわけですが、監督の前でも主人公の毒を吐きます。よほどいらだっていたのでしょうか。クビにしるとまで…。話し中に監督は語りだします。彼は私の知り合いの監督の助手をしていた。その時、私はある撮影で助っ人が欲しかった時に彼を借りたんだ。知り合いはあいつは使うのに苦労するんだ。ぼかするし、緊張してんのか上手くいかずに一人で必死こいてやがる。しかし、奴の仕事が完成したらどうだ、思わず驚いてしまうんだよこれが。彼のよい逸材だと保証する。使ってやってくれてね。確かに失敗は多いけど、知り合いには、失敗は多めに見てやってくれよ?俺も怒鳴るが何故か魅力があるというかいつもスタッフに入れてるんだ。って言われてね。驚いたよ、彼がいるとスタッフがまとまるんだ…。話は進む…。怪訝そうに聞いていたおんぶもだんだんと話に集中する自分がいることに気が付かだしてしまいました。知り合いが監督を引退する時、私は彼をこちらに引き入れた。欲しかったんだ。技術的にも人間的にも。彼自身の成長にも興味があったしね。彼は高校出てすぐに映画の現場に身をおいたんだ。彼は小学生の頃に両親を亡くし、それから一人で生活してきたらしい。懸命に頑張って自分の夢、映画を作りたいという希望が今まで彼を支えてきたんだよ。彼は人生波乱万丈だったんだらうね。社会の厳しさを若いながらも知っている。君が言うほど悪いやつじゃないよ。

彼は好青年だ。私は映像は撮る人が反映されると思っている。彼の撮った映像には一人の少女が移っていたのだが、その映像のすばらしさといったら…。話がずれちゃったね。ごめんごめん。おんぶちゃんの捨てた時計ね、あれは彼の宝物らしい。以前に撮影時に懐中時計が必要になって、彼に借りたことあるんだ。彼に聞いたらその時計は親の形見らしいんだ。現在、親との接点はそれしかなくて大事にしていたんだ。私にどんな辛い時でもこれを見ると頑張ろうと思うんですよ。さすがにもうこいつは役割を果たしてしまって、人が見ればゴミなんですけどねって苦笑いで言っていたよ。私が言うのもなんだが、うちのはづきにも話すんだけど…人にはうさんくさい物でも人にとってはそれ自体が宝物なんだ。勝手に人の物を自分の考えで無に返すことはやってはいけないんだ。おんぶは無言のまま話を聞いていました。そして頬をつたわる涙に気付きました。心の中も同時に気付きました。いらだって…感情的に…人の大切なものを奪った罪悪感を…。

次の撮影時、主人公はいませんでした。スタッフ達には彼はどうしているのか聞きますが、みんなわからないと言います。気になって仕方ありませんでした。謝りたくても謝れないもどかしさ。撮影にも力がはいりません。反省しても悩んでも、誰にも言えない…。仕事のことだからどれみ達にも相談するのも躊躇するのです。そして、思い出すのです。彼の家は知っている、あいこちゃんと同じ場所だと…。仕事の後、自宅に赴こうと決意します。あいこちゃんの隣の部屋…。深夜母親に頼んで車で連れてってもらいましたが彼はいません。遠方にくれるおんぶ。彼女は母親にあいこちゃんに話があるから先に帰ってと上手く嘘を付けて先に返します。そして一人、魔法を使い、彼の居場所を突き止めます。そこはどれみ達の父親がかよう居酒屋。どれみとあいこの父親が主人公と一緒に呑んでいました。どうも、あいこの父親が彼を誘った様子です。主人公の元気の無さを見てなんとか励ましているようです。おんぶはそっと覗いていました。聞き耳を立てて様子伺います。

それからというもの、おんぶと主人公は周りから見ると今までとは逆に、えらく仲良く見られました。おんぶがイニシアティブをとるのは以前のままですが嫌悪感はありません。周りにはじゃれてるとしか思えないくらいの変わり様です。撮影も好調に進んで行き、よいムードのまま事は進んでいきます。学校でも魔法堂でもいつしか主人公の話をするおんぶはどれみ達にとって、けろっと変わった彼女を見て不思議に思うのでした。おんぶはせこせことスタッフから主人公の話を聞いたり、主人公の行動に注目したり、情報を集めます。それを魔法堂で面白話しや逸話に話してしゃべります。そのうちどれみ達も興味が湧いてきて主人公の話ばかりをしだし始めます。主人公が休日の時に魔法堂に呼んだりまでしだす始末。(強制で)いつしかメンバー全員と面識を持つまでにいたりしました。どれみ達は主人公の生活状況を知り尽くしています。そして生活面で苦勞している事も…。どれみにとってはステーキを食べる事もできない主人公に共感を覚えますし(笑)はづきには父親の現場の話をしたり、あいこには隣という事もあって強引に家事を手伝ったり、ももこは彼がハリウッド目指すと聞いて熱くなって英語の勉強教えるので、主人公はてんてこまいです。おんぶはさもありなん。皆の共通は主人公が人間関係で悩みの相談ののってくれる事。たまに魔法堂の中の日曜大工を手伝ってくれたり優しいお兄さんぶりを見せつける主人公でありあます。

主人公がみんなと仲良くなるにつれ、おんぶは彼と一會う機会が多いにも関わらず、主人公がかまってくれないのを段々と嫉妬し、他から引き離そうと姑息な手段をとったりとどたばたも多くなりました。家庭と疎遠がちなおんぶにとっては彼は兄にも近い存在でしたが、それは何時の間にか憧れの対象へと変わって行くのです。そういう事をするのは彼が好きになり、独占したい衝動にかられているのだと気付きはじめるおんぶでありました。もう主人公の事で頭がいっぱい。主人公が微笑む姿を見て、顔を赤くして目を背けるのもみかけるようになりました。彼が偉優の女性と話した時は機嫌が悪くなったりもします。その状況を打破しようとおんぶも行動に出ます。休日にデートにさそったり買い物したり映画見たり。時にはいたずらな悪魔を演じ、えっちつぽい挑発したりと、興味をもたせようとする一面を見せたりします。主人公の方は持ち歩いてた8ミリフィルム撮影機で彼女を撮影し彼女のありのままの姿を撮り続けるのでありました。

どうやら事の始まりを打ち明けた後のようです。少し時間が経った時、おんぶに彼の言葉が胸に刺さりました。支えであった宝物は無くなりました。どんな形であれ失うのは辛いですが、今まで充分に苦勞を忘れさせてくれました。しかし、失って初めて気付いたんです。いつの間にか自分は自力で苦勞に打ち勝つ力を手に入れていたんだと。それは忘れさすのではなく力を与える物だったんだと思うんですよ。失ったのはその宝物の魔法の効力が無くなり、帰化された運命的な物だったんでしょかね。悩みと失望感で仕事から初めて逃げましたが、結果、それは自分にとって大きな経験になりました…。だから捨ててしまった人には怒りも憎悪もありません。なるべくしてなったことです。きっかけなんです。自分がどこまで成長したかの試験だと思えます。だから明日から仕事に復帰します。

おんぶは涙を流した。

私が見下していた彼は足下にも及ばないほど経験を積んできていた。私は天狗になっていただけだ。そうか…私はストレスのいらだちを、辞先を彼に向けていたんだ…。それを知ってるから、辛いのは知ってるから…。言う事聞いてくれたんだ…。悪人は私じゃない…。子供のくせに大人ぶってた私が悪いじゃないのよ…。そう思った時には彼女は居酒屋の戸をひき、たたずんでいた。驚く主人公達。そして主人公に飛びついて彼の胸の中で、彼の服をくしゃくしゃにしながら泣きながら「ごめんなさい」と、何度もくり返しました。

この時に藤原監督の言っていた、不思議な魅力…そう、人一倍に苦勞を味わっていた主人公故の他人への思いやりのすごさを実感したおんぶでありました。

ある撮影の日、見せ場であるシーンの撮影が行われます。大掛かりなセット。おんぶが崩れる建物からの脱出をする場面。本番リハーサル中に、建物が大破滅に陥れるように切り込みを入れておいた柱が自重にたえかねて壊れだします。突然の出来事にパニックに陥る陣営。おんぶもしかり。立場で稽古していたおんぶは他人よりも後に逃げる事しかできずにとりのこされ上からは木材が降り注ぎます。おんぶに向かう主人公は彼女をかばい、二人は互譲の中に…。気を失った彼女が目覚めた時、目の前に彼女を必死でかばった主人公がびくりともしないまま動かないでいます。主人公を呼ぶおんぶ。返事をしない主人公…。彼女が揺さぶったとき、手に唾かい鉄の匂いのする液体を目にするのです。それはまぎれもない大量の血…。「いやあー！」おんぶは叫んでしまいます。主人公は息をしていますが。泣きながら必死で呼び掛けても通じません。彼の傷口から止まることなくでる血液をなんとか止めようとはしますが、幼い力ではそれを防ぎ切れません。魔法を使う事すら忘れて混乱します。つかの間、救急隊とスタッフが救助しに來ます。血だらけになったおんぶを見て皆が大丈夫かと声をかけますが、彼女自身は無傷でした。問題なのは彼女を守りとおした主人公。誰の問いかけにも答えず、無言のまま抱えられて運ばれます。おんぶはその姿に腰を抜かし、再度気を失ってしまうのでした。

おんぶが目を見ますとそこは病室の天井。横には母親と監督、そしてどれみ達の姿。はっとして彼女は皆に主人公の容態を聞きます。すでに事故から8時間経っていました。主人公は心停止のまま運ばれ蘇生措置でなんとか窮地を脱し、一命をとりとめました。しかし、昏睡状態で意識回復の見込みはない状態でした。私を守るために…優しすぎるんだよ…。病室で泣き崩れるおんぶがいました…。母親と監督が事後処理の為に帰った後…。病室にはどれみ達だけになった時、おんぶは言いました。

みんな…私に力を貸して…！

マジカルステージ!

彼の生きる力…彼の意識を元に戻す力に勇気を与えて!

魔法によって主人公の奥深く眠る自分に光が輝きます。
夢…彼は夢を見ていました。
子供の頃の両親と暮らしていたあの日。楽しかった思い出が走馬灯のようにかけめぐります。
両親を失ったあの日。孤独感に押しつぶられそうになった恐怖の思い。親戚をたらい回しにされた記憶。目にしてきた他人のそれぞれの感情、思い。苦節、苦勞、苦心…。
憎悪だけしか感じる事のない毎日、生活…。
遊べなかった中学時代、迷路だった…答えを探し続けた。
一人暮らしの高校時代、青春?それは憧れで終わった。

幼き日に両親と見た映画が蘇る。
「ぼくね、おおきくなったらえいがかんとくになってすごいえいがをとるんだよ…」
誕生日に時計をもらった…幼い手には大きすぎる懐中時計。
そうだ…これが僕の支えだった。時計の傷は一つ苦勞を乗り越えた時、一つずつ増えていった。僕の心を慰めてくれた。時計の寿命は尽きたのにそれでも支えてくれた…。

魔法の懐中時計…僕の宝物…僕の両親…。

それは無くなってしまった。悲しい…。
でもそうだったよ…あれは苦勞を忘れさせてくれるもんじゃないんだってこと…。あれは苦勞を自分自身の力で乗り切るために勇気を与える物だったんだね…。
失った時、気付いたんだ…。親の元を離れなきゃ…。父さん、母さん、僕は今まで頑張ってるよ。
巣立つ事ができたよ…。

病室で横たわる主人公の目には涙が流れた…。

食べる?

おんぶは主人公の口にうさぎカットの林檎を食べさせる。
主人公は食べながら、君は大丈夫かと訪ねた。
おんぶが無傷だった事にほっと肩をなで下ろす。おんぶは、本当は私がそうする立場なのにと苦笑する。そして主人公に「ありがとう」と顔を赤くして言った…。
主人公は復帰できないが撮影はそのまま続らしく、おんぶは朝に見舞いに来た後、撮影に行った。彼女は嬉しくて今日の話を無邪気にしてくる。はしゃぎすぎて主人公の口に運ぶ林檎が途中でシャツの上に落ちてしまう。
それに向かって手を向ける二人。二人の手が触れあった瞬間だった。…沈黙が続く…。カーテンが風で揺れる…。

おんぶは手をどけて腕を胸を当てて恥ずかしがる。そして、主人公にそっとカバンから取り出した物を手にとって彼に見せた。…それは懐中時計だった。
良く見ると蓋の部分に懐かしい。以前おんぶが捨ててしまった、主人公の形見であったそれと同一の物だ。
今日ね、あの場所の撮影だったの…。一人で探して、蓋だけ見つけてきたの…。いくらさがしても他はなかったけど…。それでアンティークショップで同じものを前から探してて以前と同じ時計を見つけて…それで急いで無理いって取り付けてもらって…。だからこれを…あなたに…。
おそらく誰にも見せた事のない表情で主人公に渡す。
それを微笑んで受け取る主人公…。

夢を見たんだ…。少女の前で語りだす主人公。
夢の中でね、少女が言うんだ。貴方は一人で生きてゆける。宝物に頼らなくても生きていける。今度は宝物をもらうのではなく、作っていきなさいってね。だから抜け殻を受け取る、そういう立場ではないんだ。でもなぜだろう…これはそれを受け取ることができるんだ。
主人公はそれが支えてきてくれた宝物ではなく今までの記録、そして、新たな自分自身で作る宝物の器であることを認識した。彼はせつなさを胸が熱くなった。
おんぶは確信していた。彼は絶対にそれを受け取ると。
そしてそれは彼女自身が彼に対する想いそのものだったから。

刹那、彼女は主人公に口づけをする。

一閃、目の前に光がさす。一人の少女が目の前にいる…。
誰かはわからない。彼女は微笑んでいる。主人公に手をのばして。今度は皆に貴方自身の手で宝物を作らなければならない。宝物をもらう立場は終わったの…。貴方が他の人達にあげる立場になる。貴方にはやることのあるの…。閉じこもってはいけませんの…。ほら、貴方には苦勞を乗り越える、打ち勝つ力はもうあるのよ? さあ、もどって来て…。

病室で横たわる主人公、体中にウザったいほどの装置をつけて眠り続ける主人公。その前に立つおんぶの姿…。
彼女は彼に顔を近づけ、そっとキスをした…。
突如脳波計が反応する。覚醒したのだ。

次の日、それは朗報となった。

まだ、自ら動く事はできないが目覚め意識もハッキリとしている。集中治療室のドクターも驚きを隠せない…。
突然現れるスタッフ陣。そしてどれみ達。おんぶは涙ぐんでいた。昨日から泣き続けたであろうか目の周りが赤く腫れていた。
見舞いの品も届けられる。中にはおんぶファンの物もある。どれみはあの事故は新聞沙汰にもなったんだよと興奮している。それよりも、見舞いの品の中に松坂牛たる彼女の好物が含まれている事に興味がありそうだ。(笑)
その中に親類はいなかったが、主人公は寂しくなかった。たくさんの仲間がいてくれる事実があったからだ。

一般病棟へ移され、一連の騒ぎの後、病室で眠る主人公と横で林檎を割くおんぶがいた。窓から外の夕日の木漏れ日が差し込んでくる。おんぶはカーテンをそっと開ける。
目をさましてしまおう主人公。ちょこっとだけびっくりする彼女。起こしてゴメンねと椅子に腰掛け、割いた林檎を手にとる彼女。大きく深呼吸した後、傷の痛みでひきつった後、主人公はふうとゆっくり息を吐いた。怪我をしている事を忘れていたらしい。その姿におんぶはクスッと苦笑いをした…。

2カ月後、彼は退院した。
その間、暇を見つけてはおんぶは見舞いに訪れていた。撮影も終わり、仕事上関係無くなってしまったのにも関わらず、話をしに会いに行ったのだ。
後は藤原監督の元に復帰し、仕事を続ける。今までの遅れを取り戻すために頑張っていた。撮影が終わったとはいえ、どれみ達とはよく会っていた。今までどおりの生活をしています。
主人公にはやる事がありました。それはおんぶのフィルム編集。寝る暇も惜しんでそれを完成させ、おんぶ達に披露します。完成度に驚く面々。映像美に驚かされます。
終わりと同時に静寂。どれみが一番にすごいとはしゃぎます。その日の夕刻、おんぶは主人公の荷物(映写機材)を運ぶのを手伝ったので彼の家まで来ました。初めて入る彼の部屋。おんぶはどきどきします。そして覚悟を決めていました。帰り送ると主人公が用意しようとする時、彼女は黙って彼のシャツを掴みます。どうしたのかと戸惑う主人公…。

帰らない…

その言葉で主人公は理解しました。
私は貴方が好き! そう言って彼女は彼に抱きつきます。

そして二人は心も体も通いあわせるのです…。

「貴方は宝物の作り方はわからないって言うけど、もう作ったんだよ? それは貴方が私の宝物だから…。私の支えは貴方なんだよ。」

ツーンと妄想してました。
ぐちゃぐちゃだけどちょっと前にメモしといたプロットのまんま。まだ、ここから続くのですがそれはまた今度。
この後、あいちゃん、ももちゃんの話に続きます。
それにしてもこっぴどかしい…。みなさん、ひいてません? 自分、ここまで考えてます。まじでそれで漫画描こうとも思ってたりにとります。この機体の妄想力は伊達じゃないって感じです。

- ニーダーのモIIIかなんて...
お汁女エイトン対策隊
6年生だし...
かえるっながいぞ400軍曹は
400は113あるドIIルつかい
ピンバイスでアラムゴクリ



た...おはこ
下さい!!
大佐ー!! (?)
おはこおはこおはこ
ドニエヒコ
洗髪してアタマ
かかすわよ
おはこおはこおはこ
おはこおはこおはこ
おはこおはこおはこ
おはこおはこおはこ
おはこおはこおはこ
おはこおはこおはこ

殺ったー!!



おはこおはこおはこ
おはこおはこおはこ
おはこおはこおはこ
おはこおはこおはこ
おはこおはこおはこ
おはこおはこおはこ
おはこおはこおはこ
おはこおはこおはこ
おはこおはこおはこ
おはこおはこおはこ

ピンバイス



あーもう
胸が痛いわ
お山さん...

なにさ...
田中さん...

とぜんだが、

いんか
一校校生は...

あーもう
胸が痛いわ
お山さん...

化!!
妹尾

このお山さん
高校の先輩と
ラブリングの
お山さん...

お山さんの
お山さん...
お山さん...



お山さんは
なにさ...
お山さん?

お山さん...
お山さん...

お山さん...
お山さん...

あま...
お山さん...
お山さん...



お山さん...
お山さん...

あま...
お山さん...
お山さん...

お山さん...
お山さん...

お山さん...
お山さん...

ふけん人は絶対に無理だわ... 私の理想男だよ?



アナルな私にフンはオッケーですか? 先生はオッケーです

おーまはにん なたは私は 空想の男を求めまくり... 百万部は売れて プレミアムな人が ついたらしい...



瀬川みづい 1621

なんでさうする

おんぶサレた ちやいどいから 伝説的な子に... として、女優、歌を... この世で愛するの♡

その男性人は私の存在がなければ生きていけない体に... なるのよ!!

んん!!

おんぶサレた ちやいどいから 伝説的な子に... として、女優、歌を... この世で愛するの♡

おんぶサレた ちやいどいから

もそふ人は... なんか思いつかん? と... どうせさうかん?



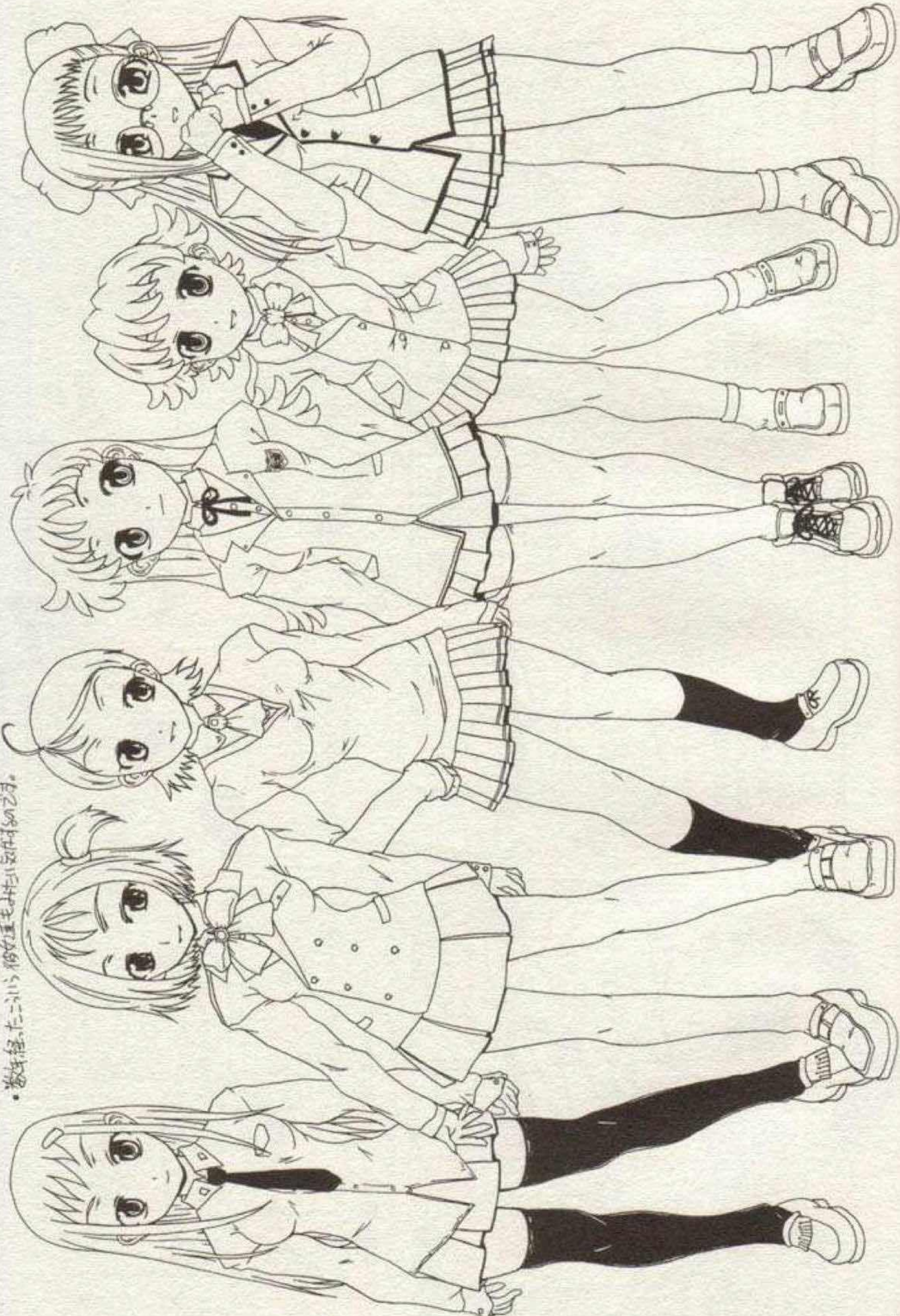
おんぶサレた ちやいどいから





↑初川原で高校はちげんも
ニ、住有のツニミがほっ...の妄想

・敬年程、たに二い、猫奴運毛、井、山、安、何、如、之、可、也、



飛鳥ももこ
入りまーす！

ゴメンなさい
シランさん…
遅れちゃいました

ドクドク

ももこ君、
何度言わせる
つもりかね
……

私の名前は
「シラン三世」。
その呼び方では
他のシランさんと
勘違いされて
しまうよ。

で、早速なんだが
ももこ君…君は
私の「スタンド」を
見てみたくな
かね??

ドク
ドク

フシュー

くらり

え？

は…はあ、
はい…

何ですか
スタンド…??

そうか！

では早速！

ドキドキ

スティッキ

フィンガース

ジイイ

きやつ
きやああああ
シ…シランさん
一体何を？！

作：ニ条ユキヤ

やめんか
この変態!!!
何いきなり
セクハラしてる
モン!!!



いきなりですが
この漫画の注意だモン。
さつきから出ている彼は
「シラン三世」なので
実際の「シラン」とは
全然関係無いモン。
この本出してるシラン氏は
真面目で誠実な性格なので(多分)
本人に「かけるの好きなん
ですか?」とか
聞かないで欲しいモン。

ももこ君...

はい?

君はコーヒーに
ミルクは入れる
方かね?

は?

スッ

いやいや
私はミルクが
好きでね...

あつ!
莓と言っても
女の子の事じゃ
ないよ!
ミルクもアレでは
ないし!
かけてから
食っちゃうなんて
そんなそんな!

はあ...?



あはははは



ミルク

うるせえ!
オレが頭の中で
何考えようと
勝手だろうが
!!!

「ももこに
かけてえ!」
とか
言ってる
だけ
マシだろーが
!!!



コラア
シラン!
何さりげなく
セクハラ
してるモン
!!!



いやいや
可愛いカバンだと
思ってたね、ちよっと
見せてもらっても
いいかな？

ええ、別に
いいですよ…

お？
このカバンは
ももこ君のかね？

え？

ついでに
中も少し見せて
もらっても
いいかな？

え…



なっ…中は
ダメエ！

なっ

やめ
ミラン
さん！！
中は！！
中は！！
いやあ

!?ダ
中は
ダメ

ぶ
ガ
ー
ン

と、ゆう事は
ももこ君…

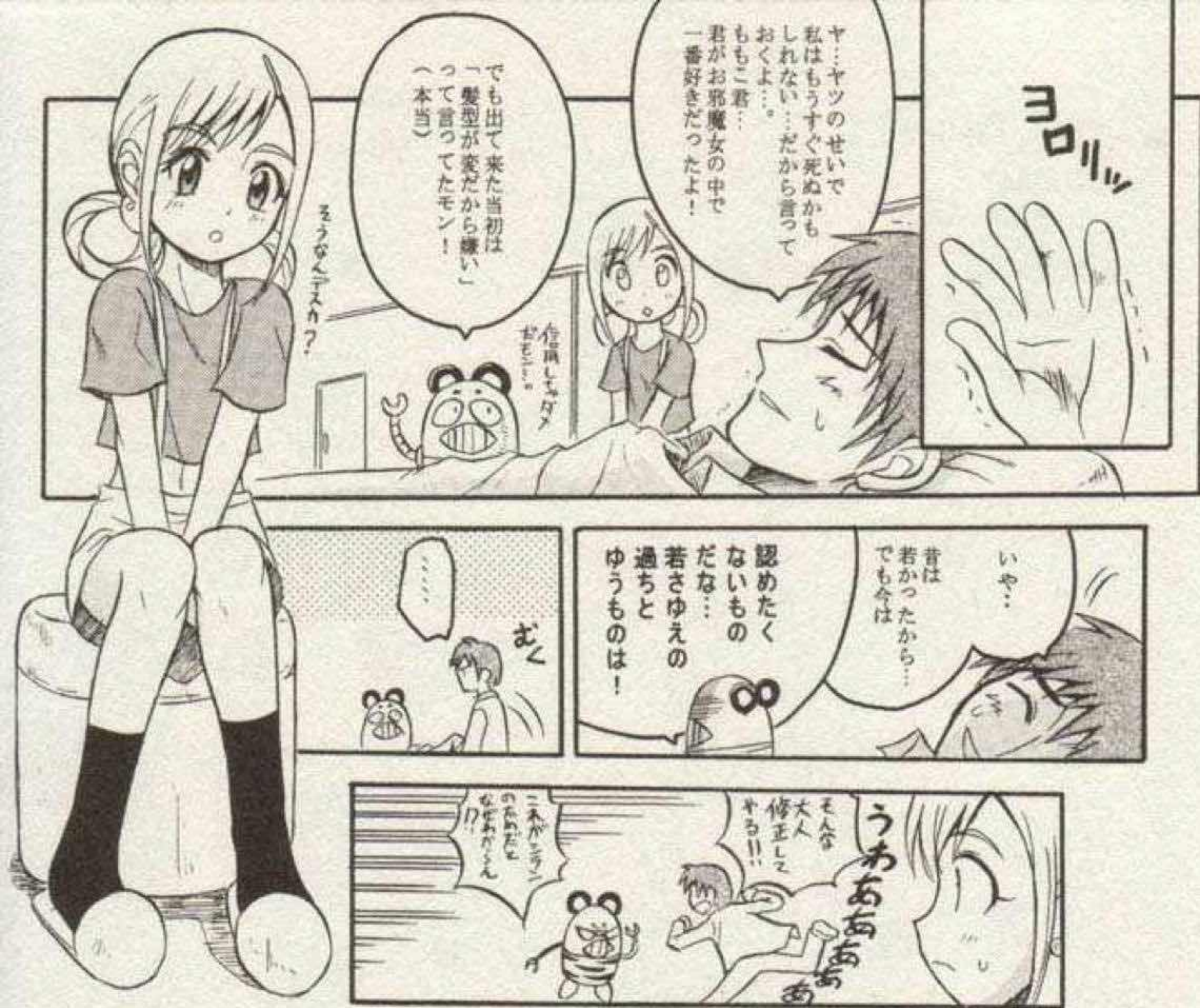
外なら
いいんだね？！
顔とか！
顔とか！！

きゃあああ！
いやああ！
何？何が
？！

シラン跳びは
空気抵抗を
減らすため
両手を前で合わせる。
しかし
それによって
前方に死角が
発生する。
死角

・シラン跳び…瞬間脱衣ダイビング

つまり！！
おお！！
ゴッ
おお！！
シラン跳びは
カウンターに弱い！！
やめ
モ
ミラン
イン



でも出て来た当初は「髪型が変だから嫌い」って言ってたモン！（本当）

ヤッヤツのせいで私はもうすぐ死ぬかもしれない！だから言っておくよ！
ももこ君...
君がお邪魔女の中で一番好きだったよ！

モロリッ

もうあんデスか？

仲間してダメ
おまじい

むく

いや...
昔は若かったから...でも今は

認めたくないものだな...
若さゆえの過ちとゆうものは！

うわああああ
そんな大人修正してやる！！

二木がランの面倒をみるわかんないか？

— そしてシラン三世は元気になった！！ —



本人によると...
ベットのの上に「はづき人形」を置いて、
下からパンツを眺めながら眠る事らしいモン...

自分の世界って何デスか？

男には
自分の世界がある
例えるなら
空を駆ける
一筋の流れ星
シランザサード〜♪

男の人ねみんな持ってるんデスか？

それみんな持ってるよ。

おしまい。

Shiran 的に萌えな
方向で...。

■ しちあ... プニなのか?
リリコせん♡
たまりません...人妻ハア?

■ エコフ...。
男がうまくなつたおな..

■ ちやたんですな。
氣にしておろす。
ガオレンジャー~♪



ガオレンジャーの機嫌が悪いですかあ...

○おまけのらくがき

以前使ってた
なかららくがき
どもです...

■ おんがたん...
そんな無防備な格好だと
死んでしまひますよ?

新コス
はいい
だと思っ

あやや...

■ 学生時代の
この衣装は
お色気な格好
自分にはまだ
おろそかです...
■ 10/7の放送
はじめての
スカートが
おもしろくて
モウして
おもしろ
い感じが
おもしろです。

アートの
おもしろ
絵です。

■ 最近、ももこが可愛くて
しつこくおんがたん...
おんがたん...
おんがたん...
おんがたん...
おんがたん...
おんがたん...
おんがたん...
おんがたん...

■ 色紙に使用した紙を
おんがたん...
おんがたん...
おんがたん...
おんがたん...





んもう！お兄ちゃんこの前のデートの約束すっぱかしたでしょ？
由美はすつとナナちゃん人形の前で待ってたのにひどいよ！
だから今日はお兄ちゃんとエッチしてあげないんだから！
ここんとこエッチなんてごぶさただから、お兄ちゃんは由美と
エッチしたがつてるなんてお見通しなんだから。
でも、今日は由美がお兄ちゃんにお仕置きするの！
ほらほらあ。スカートと下着を脱いでアソコを見せただけで
お兄ちゃんのおちんちん勃起してる…。ズボンが苦しそうね。
あはっ。ズボン脱いで由美に勃起したおちんちん見せても
何もしてあげないもんね！我慢できなくておちんちんビクビク
させて…ふふふ。どうするのお兄ちゃん？
由美には絶対触っちゃダメだし…。そうだ！
お兄ちゃんオナニーしてよ？今日はそれでおしまい。
…つてもう、お兄ちゃんシコシコしてるし…。我慢してたの？
本当は由美をむちやくちやに犯して、由美の○学生のおまんこに
たまった精液ビクビクだして気持ちよくなりたいたいだね？
由美もお兄ちゃんの固くて太いおちんちんお口でペロペロして、
おまんこにドクドク精液を出して欲しいけどお仕置きだから
残念でした。…お兄ちゃん、由美のアソコに釘付けで
ハアハア言っちゃって可愛い。おちんちんからお汁が滲んで
きてるよ？お兄ちゃん苦しそう…？
ちよつとかわいそうかな？

由美もそんなに意地悪じゃないからちよつとだけ
サービスしてあげる。お兄ちゃんっておしつことか
好きでしょ？放尿ビデオとか持つてるし、由美が
トイレにいるの覗いてシコシコしてたの知ってるん
だから。ほらほらあ…○学生の放尿シーンだよ？
ちゃんと見るの初めてでしょ？お兄ちゃん…。

はあんっ…。由美のアソコからおしつこ出るのみてから
お兄ちゃんのおちんちんしごく手が速くなっよ？
おちんちんもさつきよりすごいし…。お兄ちゃん変態。
ああっ！お兄ちゃん！由美の下着取って何するの？
ええっ！おちんちんに由美の下着かぶせてオナニーなの？
やだあ！おうちに帰る時どうするのよ！
…もう、由美の下着、お兄ちゃんのお汁でシミがついてる。
ひどいよお…。

尾川 由美 ○学2年生
学校では大人しい優等生だが
プライベートになると性格が豹変。
貴方と一緒に居る時だけすごくHな
女の子になるのです。

もうっ許さないんだからあー！こうなったらお兄ちゃんのお部屋でウンチもしちゃうもんね！んっ……はああっ！ホントは由美のウンチも見たかったんでしょお？
○学生の由美の排泄シーンを想像して一人の時にオナニーしてるんだ……お兄ちゃんの考えてること全とお見通しなの由美には……あつ、でる！くうう……
由美のアソコからウンチとおしっこが……み、みてえ……現実の由美の排泄だよお？お兄ちゃんも速くシコシコして由美に射撃してる姿を見せてえ……！
由美のウンチとおしっこにお兄ちゃんの精液をかけてえ……！あああんっ……！
はああああん！



カーン・マ・マ・マ

「朝起きて隣にはいき
 ちゃんがいいたら驚くより
 先に抱きしめるよ？」
 ZOOZ KILLIE



カキコも流石
 可愛いミルキー

ここまで付き合ってくれてありがとうございます。今回はラブラブがテーマでした。
 …というよりは、自分の妄想回転数レプリミットって感じです。
 商業誌の合間をぬって、いつものように製作してみれば、かなりのページ数にびっくりです。
 レヴオに参加できない不満と欲求、そしてどれみの本を作ろうとした熱意の現れなのか、
 短期間のスケジュール詰まった状態でここまでやるんなら、他の事に力を向けなさいと
 自問したり。もう、阿呆かと馬鹿かと小一時間問い詰めたり…。
 そうそう、初期にだした、はづき漫画はネーム切ってるのもう少し待つて下さい。
 最近、鬼畜ネタよりも相思相愛ラブラブネタの方が好きな状況でちょっとそっち方面は
 おろそかにしております。ごめんなさい。
 今回の本、こういうネタはまた時間があれば作りたいたいです。ちゃんとした話を作つてね。
 でもそんなことすると多分100ページ行くのではないかと気が気でありませんが…。
 なにはともあれ、読んでくれてありがとうございます。多謝であります。
 またどこかで燐堂の本見かけたら見てやって下さい。よろしくです。
 さてさて、今後はどうなるのやら…。夏はメカ本を作るけど（燐堂はメカ制作サークル
 なのだ。みんなわすれてない？）その間には何を作ろうかな？まあ、期待してして下さい。
 それに応えるように頑張りたい所存であります。
 それではまたどこかで…。読んで下さった方々に感謝を込めて。

shiran

後書き -postscript-

領収証 № 0307700

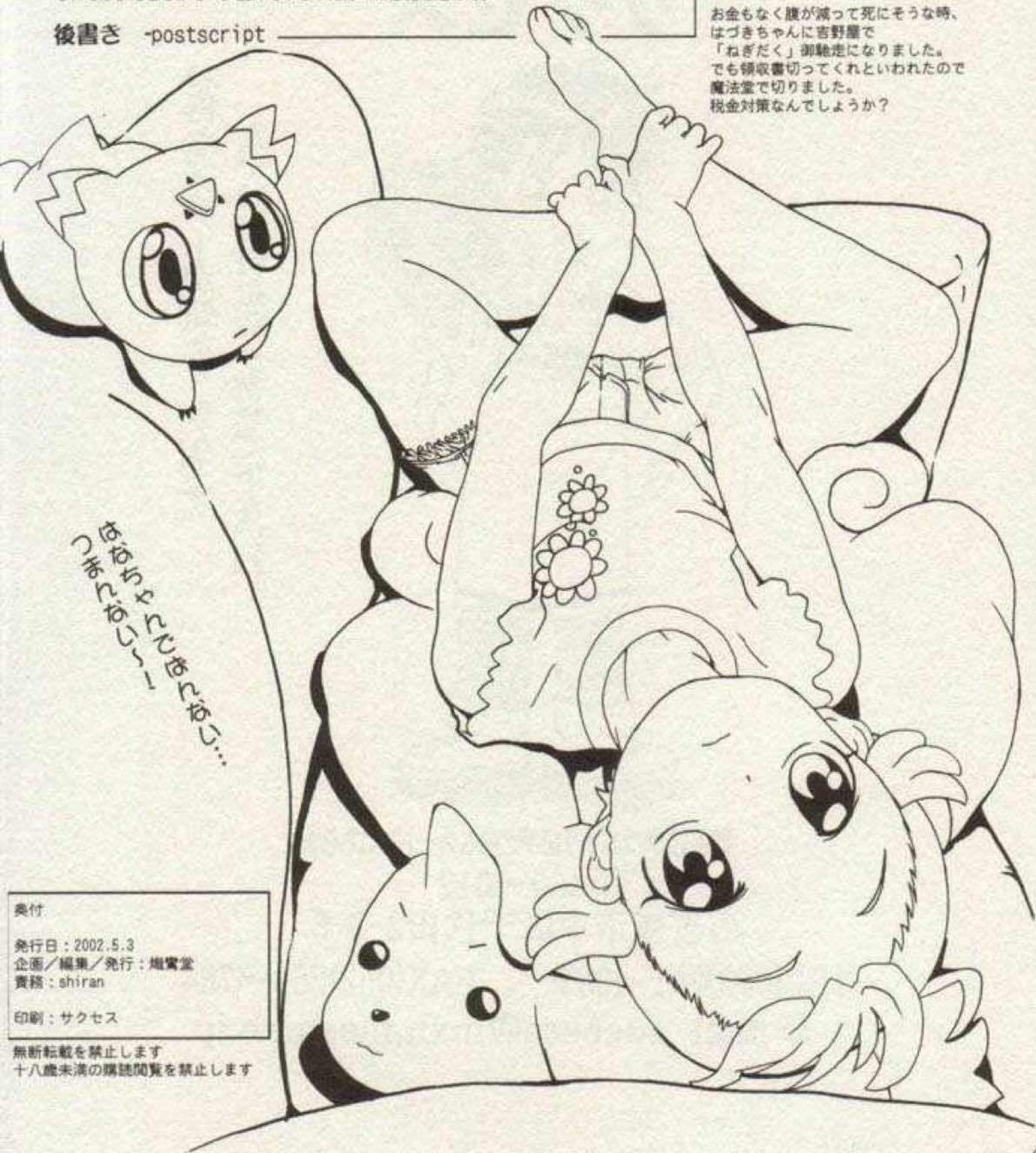
MAYO 様

金額 7,280

① 品名として
 ② 品名として
 上記金額に領収しました
 1999.5.17

合署名
 吉野堂書店

お金もなく腹が減って死にそうな時、
 はづきちゃんに吉野堂で
 「ねぎだく」御馳走になりました。
 でも領収書切ってくれといわれたので
 魔法堂で切りました。
 税金対策なんでしょうか？



はづきちゃんにねぎだく…
 つまらぬわー

発行日：2002.5.3
 企画/編集/発行：燐堂
 責務：shiran
 印刷：サクセス

無断転載を禁止します
 十八歳未満の購読閲覧を禁止します

おジャ魔女
おジャ漫画
依存症候群

shirando-2002
presents book

